

# おかしな和製英語

- アウトドアライフ……英語では外で生活する人。乞食、ブルーテントの人を意味する。  
屋外の川辺や林間で遊ぶことは アウトドア リクリレーションという。
- セカンドライフ……日本人は老後をセカンドライフと言っていますが、英語でライフはひとつ。  
セカンドライフとは死後の世界のこと。セカンドライフコンサルタントとは霊界の  
コンサルタントになってしまう。正にジョーク！
- 結婚式のバージンロード……英語には、バージンロードなる言葉はなく、単にアイル(通路)となる。  
結婚式のライスシャワーも和製英語。英語ではスローライスになる。
- 日本人はよく、あの人は「ナイーブ」だと褒め言葉で言います。日本人の感覚では繊細・・というような  
意味を持ちますが  
英語の「ナイーブ」の意味は「だまされやすい・・」と言う意味。  
外人と会話するとき、ナイーブの言葉を使うときは要注意。
- 主婦を英語で言うと Home maker
- 日本では賃貸の家をアパートというが、英語ではアパートメントという。大きなアパートを日本では  
マンションというが、これも英語ではアパートメント  
マンションは大邸宅のこと  
ワンルームマンション・・なんとおかしな言葉だ。
- 観光保養地にあるペンション・・ペンションは年金のこと。
- 野球でグローブというが正しくはグローヴ。 グローブは地球儀
- テレビ討論などの「パネラー」という言葉から英国人が想像するのは、ヘルメットに作業着姿の人だという。  
「パネラー」とは車の車体を修理したり、家の外装材の取り付けや修理をする人のことだから。  
正しくはpanelist(パネリスト)である。
- 「ペアルック」は「洋梨体型」だし、
- 「スキンシップ」は「皮の船」、
- 「ターミナルホテル」(*Terminal Hotel*) は「ご臨終ホテル」(正しくは Station Hotel).
- エアポートの「ボディチェック」→正しくは「セキュリティー チェック」
- ロス・タイム(*loss time*) : lost timeと聞こえて、無駄な時間となる。  
今から、正念場の延長が始まる時に、アナウンサー  
が言うと、「今から無駄な時間です」との意味になる(正しくは injury time).